

2016(平成28)年度 留学生セミナー「長野」

国際課留学生交流

実施日 2016(平成28)年 6月25日(土)～26日(日)

参加学生 27名(留学生 23名、その他学生 4名)

内容 中山道、馬籠から妻籠宿までのハイキング、松本城見学、味噌工場見学、中町通り散策

平成28年 6月25日(土) 28日(日)の2日間、長野県木曾郡、松本市周辺にて第1回留学生セミナーを実施した。木曾郡までバスで移動し、中山道を歩いた。あいにくの雨ではあったが、留学生たちは中山道沿いに広がる田園の写真を撮り、熊よけの鈴をならしながら、ハイキングをした。途中偶然にも通った立ち寄りところで、木曾名物の木曾節を歌って頂く機会にも恵まれ、留学生たちは江戸時代の日本の文化を感じた。妻籠宿では留学生たちは白壁の古き良き商店で食べ歩きするなど、歴史を感じながら楽しんだ。

2日目は、飯田市から松本市へバスで移動し、松本城見学を行った。松本城では事前をお願いしていたボランティアガイドによる英語の説明を聞きながら、城内を見て回った。城の内部では城を守るため、小さく開けた穴から弓矢や銃を向かってくる敵にめがけて放つことのできる仕掛け、外部からは五重に見えるが、内部は六階になっている安全対策など、数々の優れた築城技術に大変感銘を受けた。城の見学後は味噌の工場見学を行った。まず倉の中に案内され、従業員の方から味噌を作る際に必要な大豆や麴についての説明、また樽での仕込み作業の方法などを教わった。長いものでは味噌を樽の中で3年も寝かせること、中には100年も使用している樽があることを聞くと、留学生から驚きの声があがっていた。その後、工場で作った味噌を使った昼食(豚汁、みそ焼きおにぎり、味噌アイスなど)を頂いた。学生からはとても美味しいとの感想をもらった。その後、中町通りと呼ばれる商店街を思い思いに散策してもらった。

今回のセミナーでは主に古き良き日本を伝えるコンセプトで初めての長野県に行った。煌びやかさなどはないが、事後アンケートによると、歴史を勉強でき、日本文化を体験でき楽しかった。今まで日本で過ごして体験できなかったことを沢山勉強できた。などの感想があがった。

